

- 2、3面 【特集】第51回全国造園デザインコンクール 審査講評 入江彰昭審査委員長ほか 入選作品 国土交通大臣賞 橋谷 ほのかさんほか
4面 技術委員会講演会報告 優良緑地確保計画認定制度 (TSUNAG) と評価基準について
【ふるさと自慢】 ぎふフェアのメイン会場“可児市”の魅力 戦国浪漫とおいしいグルメや温泉 岐阜県支部 松田 智代 (イビデングリーンテック株)
【緑滴】 バスケットで群馬を熱く、元気に！ 群馬県支部 高木 映李奈 (榊山梅)

第51回 全国造園デザインコンクール

文部科学大臣賞 群馬県立藤岡北高等学校
国土交通大臣賞 橋谷 ほのかさん (群馬県立藤岡北高校)



受賞者と関係者で記念撮影

日造協は、第51回全国造園デザインコンクールの表彰式を2月15日(土)、東京都千代田区二番町の東京グリーンパレスで開催した。全国造園デザインコンクールは、造園空間のデザインと設計技術の向上を図ることを目的に日造協主催、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、全国高等学校造園教育研究協議会共催、文部科学省、国土交通省、NHK、全国農業高等学校長協会、(公社)日本造園学会、(公財)都市緑化機構の後援で実施している。

第51回全国造園デザインコンクール受賞者

Table with columns: 賞部門, 氏名, 学校名, 学年. Lists winners for various categories like 文部科学大臣賞, 国土交通大臣賞, etc.



遠藤友治調査官 望月一彦室長 入江彰昭委員長

第51回全国造園デザインコンクールは、高校46校、大学29校、一般4名から総数641点の過去最多の応募作品数となり、「住宅庭園部門」に大学・一般29、高校164、「街区公園部門」に大学・一般55、高校45、「商業施設部門」に大学・一般14、高校32、「実習作品部門」に大学7、高校20、緑化フェア「みどりの広場」プラン部門に275(高校のみ)点の応募となった。

審査会は1月26日、終日にわたって行われ、入選28点、佳作26点を選び、入選の中から特別賞6作品を選定した。

表彰式では冒頭、主催者より和田新也日造協会長があいさつ。受賞者へのお祝いとともに指導された先生方や関係者への感謝、今後のコンクールの発展と社会への貢献に向けた期待を述べた。

次いで、遠藤友治文部科学省初等中等



交流会で作品について説明する受賞者

樹林

(一社)日本造園建設業協会理事 株久郷一樹園代表取締役 久郷 慎治 クライストチャーチ



ニュージーランドの環境先進都市を訪ねて

昨年(2024年)の11月にニュージーランド(以下NZ)を訪ねる機会があった。NZは日本と同じく島国で、二つの主要な島(北島・南島)と多くの小さな島々からなる。北西に2,000km離れたオーストラリア大陸と対し又、南方の南極大陸とは2,600km離れている。日本からは約9,300km離れており面積は27万534km(日本の約4分の3)で人口は約520万人で首都はウェリントンである。

7日間の旅であったが、クィーンズタウン・クライストチャーチ・ロトルア・ワイトモ・オークランドの都市を駆け足で廻り、その間にマウントクックやテカポ湖まで見学する強行軍であった。中でも特に印象に残った都市はクライストチャーチで国際市場でも広く認められるようになった美味しいワインとNZ自慢の料理のマリアージュを郊外の景勝ワイナリーで堪能した。

しかし、何よりトラムの走る街なかの整然とした美しさと緑あふれんばかりの自然に溶け込んだ街並みに驚いた。僅かな時間であったが「庭園都市」としての中核をなすハグレー公園の中の植物園を視察することができた。

その昔、旅行ルポライターの兼高薫

氏が『世界で最も美しいガーデンシティ』と称賛したクライストチャーチはNZでも特に有名な環境先進都市で世界中から多くの観光客が訪れるオークランドに次ぐ大きな都市で人口は34万人である。

南島の中央東海岸に位置しカンタベリー平原の中央にある。南島最大の都市でイギリス以外で最もイギリス的な都市と言われ緑の多い整然とした街路が美しい。

湿地の多い平原を埋め立てて造られた街は街中を流れるワイマカリリ川やエイボン川など川沿いに発展してきた町でもある。

市内に張り巡らされた河川や水路などの水系は自然環境復元に注意を払われ、河川の修景も自生種による緑化が広く採用され、生物多様性がしっかりと担保されている。

何より地域住民がその地域が元々持っている自然環境の潜在的価値を共有し、更にその持続的な管理までも地域のコミュニティと共に大きく携わっていることに感心する。

生態系や自然環境保全への世界的な流れと共に、古くから土着の自然を大切に守ってきたNZ独自の優れた自然景観を造り出していると感じた次第である。

教育局産業教育振興室教科調査官、望月一彦国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長が祝辞を述べた。

表彰式では、特別賞の紹介に続き、各賞の受賞者にそれぞれ賞状と盾の授与が行われ、その後、審査委員長の入江彰昭東京農業大学教授が講評を述べた。

受賞作品の発表と講評では、文部科学

大臣賞を受賞した群馬県立藤岡北高等学校の高橋太郎校長が受賞の感想と学校の取り組みなどを説明。次いで各賞の受賞者が作品について説明し、選考にあたった審査員がそれぞれ講評を行った。

また、表彰式後には交流会を開催し、受賞者と各審査員との間で活発な意見交換が行われた。

入賞者へ支部から賞状を授与 意見交換なども実施

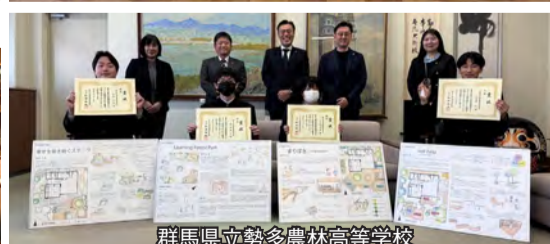
全国造園デザインコンクールの特別賞以外の入選者への賞の授与について、従前は本部から受賞者に送付を行っていましたが、2016年から日造協支部を通じて行うようにしてきました。

こうしたことから今年も支部による受賞校への訪問が実施され、賞状の授与のほか、意見交換や支部と学校の連携を図るな

ど、コンクールの趣旨をご理解いただく有意義な機会を得ることができました。



群馬県立藤岡北高等学校



群馬県立勢多農林高等学校



岐阜県立恵那農業高等学校



かわさきフェア 3/22~4/13まで3会場コアに開催

第41回全国都市緑化かわさきフェアは、全国初の秋と春の2期の開催です。春会期が令和7年3月22日(土)から4

月13日(日)までの23日間、3つのコア会場(富士見公園、等々力緑地、生田緑地)を中心に開催されます。ぜひ、会場に足をお運びください。

特集

第51回全国造園デザインコンクール

審査講評 入選作品

■入江 彰昭 委員長 (東京農業大学教授、(公社)日本造園学会理事)

全国造園デザインコンクールは、第51回の新たなスタートとなり、今年応募数は641点で、過去最多となりました。

特に高校生からの応募が多く、応募された高校生、ならびに指導された先生方、誠にありがとうございました。常連の高校からの応募数が増え、さらに新たな高校や大学からの作品も増えており、このコンクールが伸張していることを実感いたします。

全作品の審査を通じて今年全ての部門において造園デザイン力の向上を感じました。特にコンセプトメイキングからデザインの具現化へのストーリー性に共感を抱くものが多く、庭園や公園、商業施設、実習作品、緑化フェアプランのいずれにおいても「使われ活きる」提案が多くみられました。例えば、場の利用と参加型の運営、地域交流や連携、活性化や再生のプランなどです。さらにはフリーハンドや製図の表現力とプレゼンテーションスキルの向上も目立ちました。

造園デザインコンクールは、複眼の目で実社会の地域と時代をみつめ、庭園や公園、商業施設の現場を「見る・観る・診る」なかで、課題を発見し新たな価値づけにより創造的に解決する力を養う絶好の機会です。今後も次の周年に向けて本コンクールが若い世代に造園への興味を醸成し、造園をポジティブに学び楽しむ場となるよう努めたい。

■遠藤 友治 委員 (文部科学省初等中等教育局参事官 (高等学校担当) 付産業教育振興室教科調査官)

本年度も、心を込めて、一生懸命に製作された素晴らしい作品にたくさん出会うことができました。その中でも特に充実した作品が多数見られた、群馬県立藤岡北高等学校が、今年度の文部科学大臣賞を受賞されました。

高い評価を得られた作品は、いずれもコンセプトが明確で、デザイン技術・表現力も素晴らしく、社会性や時代性に富んだものばかりでありました。また、高校生らしい大胆な発想と、目を見張るようなアイデアがあふれていました。

各学校におかれましては、本コンクールを、学習成果を発表し、評価いただく場として捉えていただきまして、今後も、教育的視点で学習計画を立てられ、基礎的・基本的な知識・技術、あるいは感性や表現力等を一層高められ、未来の造園分野をたくましく担っていく人材の育成に一層努められますことをご祈念申し上げます。

次年度も素晴らしい作品に多数出会うことを、心より御期待申し上げます。講評とさせていただきます。

■望月 一彦 委員 (国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長)

入賞された皆様にお心からお祝い申し上げます。今年も昨年に続き過去最高の応募数となり、コロナ禍を通して公園緑地の持つ機能への期待が高まる中、生物多



国土交通大臣賞

「Circulation ~地域を染める~」 槇谷 ほか 群馬県立藤岡北高等学校

様性確保、にぎわい創出など、地域社会の課題解決を意識したコンセプトとそれを反映した作品が数多く見受けられた大変充実した審査会となりました。

国土交通大臣賞は、街区公園部門・高校の部、槇谷ほかさんの「Circulation ~地域を染める~」を選定しました。公園を地域の多様な主体と繋げて、人、物の視点から循環=Circulationさせるという広い視野に基づくコンセプトのもと、脱炭素、再生エネルギー活用、コミュニティ醸成など、都市環境を巡る課題の解決に貢献するように公園をデザインした作品です。シンプルかつ抽象的なデザインながら、公園が持つ多様な機能を最大限に発揮させることを試みた提案として高く評価しました。

来年度も、皆様から時代のニーズに応じた独創的な作品が提案されることを期待しています。

■伊藤 弘 委員 ((公社)日本造園学会理事)

社会における課題解決や都市公園行政の取り組みに加え、利用者の成長など時とともに変化する使い方に対応したデザインも見られ、造園デザインを通じた社会の学びが行われていることを実感しました。

トランスフォームパークは、周辺施設とのつながりを考えた上で、中心にある池の水位の変化による利用の変化と、それに伴う空間および利用の変化から生じる風景の変化をもたらそうとするものであり、街区公園の使い方可能性をもちやすデザインが評価されました。新たな技術開発に資する最も独創的・先進的な学会賞にふさわしい作品でした。

■吉野 剛文 委員 (全国農業高等学校長協会理事長)

受賞作品は、地域との継続的な連携・交流をととても大切に、それをかたちにすることで活用されている広場です。モチーフとした養蚕や放置竹林の整備による竹の有効活用、コンポスターなど、森林科学の学びを存分に取り入れています。また、造園や竹細工などの伝統的な技能を織り交ぜながら作られたドームで遊ぶ園児たちの様子が見えるだけでなく、ライトアップにより地域の様々な方にも楽しんでもらうための工夫を感じます。まさに地域の情操教育を担う素晴らしい「歴史と生命を編む広場」となっています。



藤井 駿 岡山県立興陽高等学校



大東 秀斗 岡山県立興陽高等学校



山本 陽太 愛知県立猿投農林高等学校



小野里 礼 群馬県立勢多農林高等学校



高橋 柚衣 群馬県立藤岡北高等学校



根岸 瑞季 埼玉県立熊谷工業高等学校



嶋崎 千恵 群馬県立藤岡北高等学校



三田 絵美喜 埼玉県立熊谷工業高等学校



中谷 夏音 東京科学大学附属科学技術高等学校



小林 咲 北海道岩見沢農業高等学校



坂 花音 神奈川県立相原高等学校



(公社) 日本造園学会会長賞  
「トランスフォームパーク」  
ヨウ オンコウ 長崎大学



(一社) 日本造園建設業協会会長賞  
「水車が見える公園」  
田井中 咲 愛知県立猿投農林高等学校



(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会会長賞  
「重なる遊歩道」  
小川 岬輝 / 植田 康太 名古屋工業大学

■井野 貴文 委員 ((一社) ランドスケープコンサルタンツ協会技術委員)

今年は街区公園部門、商業施設部門の応募が例年より多く、例年に比べデザイン性が徐々に上がっているように感じました。その中からデザインのアプローチが良い作品であった「重なる遊歩道」をCLA会長賞に選ばせて頂きました。

受賞作品は近年の子供の遊び規制、限られた公園敷地で様々なグループが共存して遊びづらいといった課題意識を持ち、床を平面的に捉えず立体的に重なるデザインによって解決しようと取組んだ提案でした。有機的に床を重ねることで多様な子供の居場所空間が創出する発想がおもしろいと思いました。

今後のデザイン展開として「自然の床(地面)」、「加工した床」、「人口の床」の3つの床と捉えて考えてみましょう。

■柳野 良明 委員 ((公財) 都市緑化機構専務理事)

緑化フェア「みどりの広場」プラン部門に、全国から過去最多となる275点もの作品をご応募頂き御礼申し上げます。2025年4月23日から全国都市緑化ぎふフェアが「ぎふワールド・ローズガーデン」などで開催されますが、岐阜県の歴史文化や自然を踏まえた特色ある作品が多く見られました。

受賞された長尾優里奈さんの作品「清流が生み出した美濃の国」は、長良川の鵜飼や自然等を巧みに表現したものでありますが、篝火や鵜の装飾に施された花を月毎に変えることを提案するなどディテールにも拘ったものとなっており、感



全国農業高等学校長協会理事長賞  
「歴史と生命(いのち)を編む広場」  
高橋 迅大 埼玉県立秩父農工科学高等学校



緑化フェア「みどりの広場」プラン賞  
「清流が生み出した美濃の国」  
長尾 優里奈 岐阜県立恵那農業高等学校

服したところであります。岐阜県の魅力を伝える本作品は、フェア会場においても大いに注目されるものになると期待しています。

■伊藤 幸男 委員 ((一社) 日本造園建設業協会技術委員長)

今年度の日本造園建設業協会会長賞は、高校生の実習作品部門の中から田井中咲さんグループの作品を選びました。現代の社会課題を的確にとらえながら、地方創生と観光資源に対して造園の考え方や技法で取り組み、また、植物を挿し木育

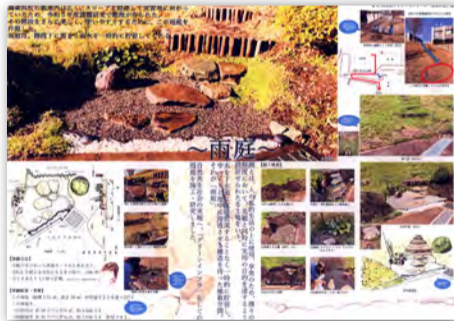
成して使うなどの地産地消を様々な材料で工夫されていることにとっても感心しました。また、平坦地ではなく道路脇のり面という難しい条件での施工を短期間できれいに仕上げています。

計画から施工に至る過程の表現もわかりやすく1枚のプレゼンシートによくまとまっていることも高い評価につながりました。

■正本 大 委員 ((一社) 日本造園建設業協会事業委員長)

昨年は過去最高作品数でしたが、それ

を上回る応募を頂きました。いずれの作品も丁寧に考察し、発想を図・現場によく反映され、感心する作品も多くありました。本人の努力は勿論ですが、ご指導いただきました教職員の皆様感謝申し上げます。造園のデザインは、美しさ(映え)のみでなく、機能・環境や地域性、歴史にも気にも配慮を巡らし作りこんでいくことが重要です。普段より様々な場への観察眼を鍛え、脳裏に浮かぶ景を演出できる力量を蓄積していきましょう。来年もぜひともチャレンジしてください。



小柳 りお 神奈川県立相原高等学校



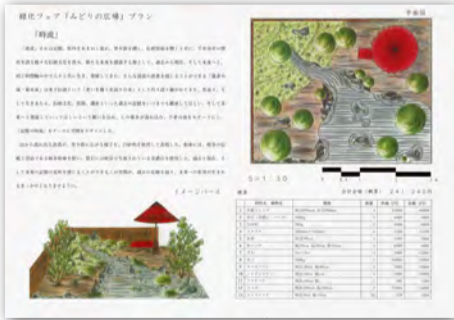
櫻井 心捺 神奈川県立相原高等学校



西尾 夏海 岐阜県立恵那農業高等学校



渡邊 果凜 静岡県立静岡農業高等学校



二宮 恵美香 群馬県立藤岡北高等学校



織田 奈月 E & G アカデミー



石橋 優雅 E & G アカデミー



和田 珠緒 東京農業大学



三浦 瑞穂 京都芸術大学



蓮尾 一護 大阪芸術大学



脇元 彩羽 西日本短期大学

岐阜県 ぎふフェアのメイン会場 可児市の魅力 戦国浪漫とおいしいグルメや温泉



国史跡\_美濃金山城跡



明智城跡大手門



木曾川渡し場遊歩道\_かぐや姫の散歩道

今春、「全国都市緑化フェア」が初めて岐阜県へやってきます。

「清流の国ぎふ」から広げる自然と共生した暮らしをテーマに、会場ごとの特徴をいかした魅力あふれる「特設ガーデン」の展示やさまざまなイベント・体験プログラムが実施されます。

そのメイン会場が私のふるさと可児市にあるぎふワールド・ローズガーデンです。

可児市は人口およそ10万人の優美な自然と戦国ロマン溢れるまちです。市内には国史跡「美濃金山城跡」をはじめ10カ所もの城跡が残っており、かつて明智の荘と呼ばれた荘園が広がっていた明智城跡は明智光秀のふるさとと

れています。

そんな可児市に来たならぜひ立ち寄って欲しいスポットを紹介いたします。花もいけど美味しいグルメは欠かせませんよね。

会場近くにある長麺うどんの定番メニューみそころは、手打ちの平麺にこだわりの味噌をからめて食べる冷たいうどんで、一度食べたらクセになる一品です。

甘いものなら、今渡にあるマエジマ製パンのパリパリコルネが絶品です。サクサク生地で包まれたクリームはなめらかで優しい味です。

メイン会場となるローズガーデンは敷地が広く、とにかくよく歩きます。旅の最後は天然温泉で疲れを癒



天然温泉三峰

明智光秀像

し家路につくのもいいですね。天然温泉三峰(会場から車で10分)では6つの温泉が楽しめます。毎春に特別企画として女性風呂に薔薇が浮かぶ日が一日あります。

かのクレオパトラが若さと美貌を保つために入ったといわれる薔薇浴が体験できるかもしれませんよ。



コルネ

みそころ

魅力にふれる旅をしてみたいかでしょうか。

岐阜県支部 松田 智代 (イビデングリーンテック株)

緑化フェアとあわせて、ぜひ可児市の

技術委員会講演会報告 優良緑地確保計画認定制度(TSUNAG)と評価基準について

令和6年の都市緑地法の改正により創設された「優良緑地確保計画認定制度」について、優良緑地の整備を担当することが想定される造園建設業界としても、優良緑地確保計画に精通し、緑地確保をしようとする者に対し助言ができるような知見を持つ必要があるため、1月30日にグリーンインフラ産業展の視察を兼ねて東京ビッグサイトで開催した技術委員会において、国土交通省都市局都市環境課の酒井翔平課長補佐をお招きしご講演いただいた。

優良緑地確保計画認定制度は、民間事業者等による良質な緑地確保の取り組みを、国土交通大臣が評価・認定する制度で、開発企業にとって社会的評価の向上や経営面でのメリット、造園業界にとっては技術力のアピールや新たなビジネスチャンスの創出など、多くの有効性をもたらす制度である。造



講演会の様子

園業界は、この制度を積極的に活用し更なる発展を目指していきたい。

なお、講演の資料は下記ページから閲覧でき、動画は会員サイトの造園デジタル図書館に収録しているので、ぜひご覧いただきたい。

資料のページ: <https://www.jalc.or.jp/news/2025030130.pdf>

会員サイト: <https://jalc.kktcs.co.jp/jalcmember/jalcmember/Login.htm> ※ログイン後に上右端のタグ「造園デジタル図書館」をクリック 「2024 技術委員会講演会」で検索

皆さまへのお願い 全正会員対象 会員の実態調査について

本調査は、造園建設業に関する最新の実態を把握するために、実施しております。

【会員の实態調査 ご回答のお願い】を3月3日にメール送信いたしました。調査にご協力いただきますようお願いいたします。締め切りは、4月10日です。

- 15(夙)・植栽基盤診断士認定委員会
16(夙)・都市公園緑地等促進議員連盟
18(夙)・都市緑化ぎふフェア 庭園展コンテスト審査会
23(夙)・第42回 全国都市緑化ぎふフェア~6/15(日)

委員会等の活動

- 広報活動部会
3/4 日造協ニュース3月号の内容確認、2025年7月までの記事構成、2025年度からの造園フェスティバルのテーマについて審議
●技術委員会(CLA「公園樹木長寿命化技術研究特別委員会」の成果打合せ)
2/6 CLAが編集した「公園植栽の創造的管理計画

編集後記 全国都市緑化フェアかわさきの春開催が迫っていますね。そして4月には全国都市緑化ぎふフェアが始まります。メイン会場の可児市。みなさま読めますかー？



バスケットで群馬を熱く、元気に！

群馬県といえば「鶴舞う形」と雷の多さで有名。

そして太田市といえば…そうですね、皆様ご存じの通り、Bリーグ・プロバスケットボールチーム「群馬クレインサンダーズ」(GCT)の本拠地ですね！(1行目はチーム名の由来です、気づきましたか?)

私がバスケット観戦にハマったのは、今シーズンが開幕してから。

きっかけは、自社エントランスホールにスポンサーとしてGCT試合放映用のモニターが設置されたこと。そのモニターで初めて「バスケットLive(バスライ)」を視聴し、解説や実況を通じてルールや戦術を知ることになりました。これまで何度か観戦する機会はありましたが、試合展開の速さやファウルの多さに戸惑い少し敬遠していました。しかし、意味を理解することで一気に面白さが爆発したので



試合会場(オパアリ)での演出



選手たちと...



サインボールゲット!

の熱く華麗なプレー、そしてアリーナの音と光の演出。…日本一です、本当に最高です...!! 余裕で箱推しですが、私は中でも必殺仕事人・細川一輝選手のプレーが好きです!!

試合での勝利を見届けた日は、「明日も頑張ろう!」と自然とやる気が湧き、仕事へのモチベーションも上がります。推しの存在はでかいです...!!

バスライで興味を持ち、いざ会場で試合を観戦すると、今まで何だったのかと思うほど滅茶苦茶面白い!! 監督の戦術や采配、選手達

周りが若干困惑するほど急にバスケットにハマってしまった私ですが、同じく熱く応援する社員たちとともに、今日も全力で応援し群馬を盛り上げています。目指すはチャンピオンシップ優勝!! GO! GO! サンダーズ!!



群馬県支部 高木 映李奈 (株)山梅

事務局の動き

- [3月]
4(夙)・技術・技能・調査部会
・広報活動部会
5(夙)・資格制度委員会(全国)
6(夙)・日本造園修景協会理事会
・都市緑化技術編集会議
9(日)・第92回自由民主党大会
10(夙)・登録造園基幹技能者講習委員会(試験委員会)
11(夙)・街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会(試験部会)
12(夙)・全国造園デザインコンクール等推進部会
13(夙)・登録造園基幹技能者講習委員会
14(夙)・街路樹剪定士指導員研修会(北海道)~15(日)

[4月]

- 2(夙)・広報活動部会
13(日)・2025年日本国際博覧会(「大阪・関西万博」)